

キレイなおうち、

ステキな毎日

キッチンに  
家族の共有  
スペースを!  
～造作棚のススメ～



あまり使わない  
軽いモノ  
キッチンペーパーやラン  
チョンマットの予備・  
キッチン&ダイニングで  
使用する季節のオーナメ  
ントなど

カウンターに  
置けない家電類  
トースター・ホットプレート  
など

マスクやティッシュ・  
ハンカチなど

箸・工具・電池・はさみ・  
テープなど

ローラー付きの  
収納用品を使い、  
出し入れをスムーズに  
したいモノ  
新聞や雑誌などの  
紙ごみ・お米(5キロ分)

この棚は  
使いやすい  
高さに合わせて!

食事用のトレイ

あまり使わない  
重いモノ  
ホットサンドメーカー・  
パーティーグッズ・ごみ  
袋各種・水筒&マグなど

食器棚とは別に、写真のような造作棚がキッチンにあると便利です。トースターやホットプレートなどの家電を置いたり、マスクやティッシュなどよく使う日用品をまとめておけば家族みんなで使える“雑貨のホームステーション”に。  
(撮影場所：土屋ホーム札幌北九条ビル2階ショールーム)

LESSON  
07 家族で使えるキッチンに!

家事は、家族ですると楽しいもの。私は  
常々、家事は家族がそれぞれできれば、  
もっといろいろなことのできるのに――と  
思っています。  
「うちは誰も協力してくれない」というお  
母さんへ、私は「キッチンから家族の家事  
参加を促す」ことをご提案します。「でも、あ  
れはどこ? これはどこ? と聞かれて大変」  
という声が聞こえてきそうですね。  
そうならないように、やっておきたいのが  
キッチンの「見える化」です。それは、引き  
出しや吊戸棚の中身がひと目で「〇〇を収  
納するスペース」と分かるようにすること。  
口で説明しなくてもここには「食品がある」  
「洗剤がある」「鍋がある」とすぐに理解

できるようにするだけで、家族が家事に参  
加しやすくなります。  
「見える化」には、量のコントロールが  
必要です。どんなにグルーピングしても、た  
くさんのモノがギュウギュウ詰まっている  
と、すぐには探せません。不要なものを整  
理することが、やはり重要ですね。  
\* \* \*  
キッチンをもっと家族の共有スペースで  
あっていい、と私は思っています。特に子  
どもたちにとっては、いろいろなのが学べる  
特別な空間です。むしろ、お母さんだけの居  
場所にしておくのはもったいない! キレイ  
で快適なキッチンでお子さんと楽しい時間  
を共有してほしいですね。



「使う→しまう」を  
家族全員ができる暮らしは  
こんなにいい!

- 1 モノの位置が決まり、  
家事や仕事が効率UP
- 2 探し物のイライラが減り、  
家族の笑顔が増える
- 3 おうち時間が  
大好きになりますよ

★おうちスタイリスト★  
米村 大子  
YONEMURA HIROKO

整理収納アドバイザー1級、住宅収納スペシャリスト認定講師・宅地建物取引士。現在、「おうち  
スタイリスト®」として、モデルハウス・個人宅の間取りや収納の提案を行うほか、テレビやラジオにも多  
数出演。住宅・リフォーム関係のイベントや幼稚園・小学校などの講演・マイホームセンターの収納  
コラムも担当。個人のお客さま向けの「訪問お片づけサービス・お片づけ講座」も好評開催中。

QRコード  
おうちスタイリスト  
米村大子  
officialサイト